

# 留 学 報 告 書

記入日: 2017年10月13日



|                          |   |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻           | 法学部法律学科   |
| 留学先国                     | アメリカ合衆国   |
| 留学先高等教育機関名<br>(和文及び現地言語) | 和文: カリフォルニア大学バークレー校<br>現地言語: 英語   |
| 留学期間                     | 2017年5月～2017年8月   |
| 留学した時の学年                 | 3年生(渡航した時の学年)   |
| 留学先での学年                  | 3年生(留学先大学で在籍した学年)   |
| 留学先での所属学部等               | <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。   |
| 帰国年月日                    | 2017年8月21日  |
| 明治大学卒業予定年                | 2019年3月   |
| <b>留 学 先 大 学 に つ い て</b> |   |
| 形態                       | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦                      | 1 学期:      2 学期:      3 学期:<br>(記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)   |
| 学生数                      | およそ 40,173 人(2016 年当時)  |
| 創立年                      | 1868 年  |

| 留学費用項目 | 現地通貨 (アメリカドル:US\$) | 円           | 備考                                    |
|--------|--------------------|-------------|---------------------------------------|
| 授業料    | 7701.11            | 901'048円    | 現地で授業追加により、+\$534.30。                 |
| 宿舍費    | 5513.00            | 646'286円    |                                       |
| 食費     | /                  | /円          | 雑費に含む。                                |
| 図書費    | /                  | /円          | 学用品費に含む。                              |
| 学用品費   | about100           | 約10'000円    |                                       |
| 教養娯楽費  | /                  | /円          | 雑費に含む。                                |
| 被服費    | /                  | /円          | 雑費に含む。                                |
| 医療費    | /                  | 0円          | /                                     |
| 保険費    | about450           | 50'630円     | 形態: 海外旅行保険(学校指定); 東京海上日動火災保険株式会社のプラン① |
| 渡航旅費   | about2077          | 232'830円    | ANA 往復で購入した航空券の値段です。                  |
| 雑費     | about2142          | 約240'000円   | 3か月間の食費(寮での食事を除く)、被服費、教養娯楽費も含む        |
| その他    | about892           | 約100'000円   | 旅行費(セッション終了後)                         |
| その他    | /                  | /円          |                                       |
| その他    | /                  | /円          |                                       |
| 合計     | abuot18'875        | 約2'180'794円 | セッション終了後の旅行費込(一週間分)                   |

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田空港→サンフランシスコ直行便

渡航費用

チケットの種類 エコノミークラス

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 ¥232,830

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

特にありません。

海外慣れしていなかったので、日本の航空会社にしようとは決めていました。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(International House)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_)

3)住居を探した方法:

過去の UCB サマーセッション参加者の方の滞在先を元にインターネットで情報を集め、自分に合う滞在先を選びました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

何が良くて住んでいる人がいいです。素敵な学生ばかりなので、色んな所で交流して行って欲しいと思います。週末のアクティビティも豊富です。(私はなかなか参加することが出来ず、少し心残りですが、とても楽しそうでした！i-house を検討される方はぜひ参加してみてください)大学も建物にもよりますが、比較的近いです。食事が3食出るのもいいところですが、時間帯が決まっているので、授業の関係で食べられないところもあるのが残念です。味に関しては賛否両論ですが、私は賛成派です。シングルルームを使っていたのですが、広さもちょうど良いと感じました。部屋に洗面台が付いていないのが残念ですが、慣れます。伝統あるところなので、様々なところにガタがきているのかな…という印象もありましたが、それも、趣です。エレベーターが時々止まります。怖いので階段を使うといいダイエットになります。プレイルームも、ミュージックルームもあるので、いろいろ遊べます。ファイヤーアラームの誤作動で、夜中にたたき起こされたりもしますが、良い思い出です。総合力で i-house が一番だと思っています！寮によってその特色も全然違うので、雰囲気や、食事の有無、金額等を考慮し、自分に合ったところを見つけてください。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生向けの窓口があったような気もしますが、大きなトラブルもなかったもので、そちらにお世話になることはありませんでした。困ったことが起こった際、私は友達(国籍問わず)に相談をして助けてもらっていました。例えば、①履修変更の際、異なるセッションの科目への変更をすることになり、通常の swap、drop より少し手続きが複雑でした。サマーセッションのオフィスのスタッフ、教授、友達に協力してもらい、手続きも無事行えました。また、②勉強の進め方や、人との接し方に悩んだこともありました。その際、明治の友達や、寮の友達、クラスメートや教授に相談に乗ってもらい、力を貸してもらい、その都度対処していました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

友人から情報をもらうことが多かったです。基本的には日没後には外に出ない、出るなら複数人で、大きな道を使う、ということは心がけました。実際に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学も、滞在先の学生寮もほとんど困ることなく wifi 使えていました。ただ、大学はキャンパスが広いので、wifi 使える場所と wifi 通っていない場所がありました。ソフトバンクのアメリカ放題というプログラムに加入してから渡航したので、屋外でもアメリカの電波(sprint)を使用できましたし、モバイルの wifi も持って行って行きました。そういったものを臨機応変に使い分けていた為、接続状況に困ることはありませんでした。”備えあれば患いなし”ですね。

|  |
|--|
| <p><b>5)現地で資金調達はどうに行いましたか？(例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</b></p> <p>基本的には両替をして持って行った現金(10万円相当)と、クレジットカードの併用で生活していました。現地は、本当にびっくりするくらいクレカ、デビットカード社会だったので、上限10万円のクレカだと少し厳しいと思います。私も、行ってからカード会社に連絡をして上限を一時的にあげてもらいました。</p>  |
| <p><b>6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</b></p> <p>基本的に何でも手に入ります。持っていると便利というものはありますが、現地で調達出来ます。大学の近くのダイソー(品物一つ当たり\$1.5ですが)があるので、日本食も恋しくなったら手に入ります。ドライヤーといった電子器具も買う場所ちゃんとあります。渡航後の参考までに、現地で調達すると便利だということをいくつか紹介します。(私は持って行けるだけ日本から持って行きましたが、荷物は少ないほうが楽です絶対に。)</p> <p>電子ケトルを日本から持って行ったのですが、これは良かったです。大活躍でした。しかし現地でも買えます。ただ、多くの学生さんが、到着後に生活用品、日用品を調達しにかかるので、物によっては売り切れてしまて手に入るのが遅くなってしまいます。枕売り切れていました。必要な方は早めの調達をおすすめします。</p> <p>ゴミ袋と、ちょっとした掃除道具があると便利です。</p> <p>個人的に役に立ったな、という印象を受けるのは、持ち運べるウェットティッシュと、手ピカジェルです。</p> <p>あとは、シャンプー等、現地で調達出来ますが、現地のものを使ってみると、やっぱり日本製すごいなと、感じます。合う、合わないあるかと思いますが、けっこうバキバキのバサバサで髪硬くなるという声を耳にする機会もありました。気になる方は、愛用の洗い流さないトリートメントのようなもの、持って行かれると良いと思います。</p> |
| <p><b>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)</b></p> <p>渡航前に、自分で指定したクレジットカードで支払いを済ませました。</p>  |
| <h2>卒業後の進路について</h2>  |
| <p><b>1) 進路</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/>就職    <input type="checkbox"/>進学    <input type="checkbox"/>未定    <input type="checkbox"/>その他：</p>   |
| <p><b>2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など</b></p> <p>大学入学時より、4年間で卒業し、就職することを決めていました。</p>  |
| <p><b>3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)</b></p> <p>※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。</p>   |
| <p><b>4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。</b></p> <p>(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)</p> <p>※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。</p> <p>正直、留学先では、まず留学先でのことを全力でこなしたほうが良いと思います。その経験が後々就活にも役に立つと思っています。ただ、帰国してから、インターンシップに行くのか行かないのか、また行くならどの業種のものに参加するのか、といった自分なりの指針は早めに決めたほうが良いかと思っています。</p> <p>留学に行ってみて、自分自身を見つめ直し、向き合ことが出来ました。希望の職種や業種が明確にあるわけではありませんが、就職活動に前向きな気持ちになれたので、自己分析や自分の興味から、希望の職業を見つけて全力で就職活動に取り組んでいきたいと思っています。</p>  |
| <p><b>5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</b></p>   |
| <p><b>6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。</b></p>  |
| <p><b>7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。</b></p>   |

**学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)**

|  |   |
|--|---|
| 1)留学先で取得した単位数合計  | 本学で認定された単位数合計<br>※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。   |
| 10 単位  | <input checked="" type="checkbox"/> 10 単位<br><input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )  |
| 2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 |   |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):  | 履修した授業科目名(日本語):   |
| HISTORY 136C, Defiant Women: Gender, Power and Violence in American History                | アメリカ史:性別や権力、暴力に対抗した女性たち<br>→帰国後、『ジェンダーと法Ⅰ、Ⅱ』に単位認定   |
| 科目設置学部・研究科   | Department of History   |
| 履修期間   | SessionA (5/22~6/30)  |
| 単位数  | 4   |
| 本学での単位認定状況   | 4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |
| 授業形態   | Lecture & Discussion(チュートリアル, 講義形式等)  |
| 授業時間数  | 1週間に 150 分が 3 回   |
| 担当教授   | Stephanie Jones-Rogers  |
| 授業内容   | 先住民から始まり、現在に至るまでの北米史の中で、いわゆる社会的弱者と呼ばれるような人々が、時代の中で虐げられながらも、どのように自身の権利を主張し、勝ち取ってきたかを史実から学びます。授業のタイトルにあるように、女性の権利取得への道に関するものが多いです。しかし、毎週大まかなテーマがあり、そのテーマに関するリーディングを元に授業が進んでいくため、黒人や、子供、障害を持つ人、低所得者、犯罪者といった層についても言及があり、アメリカの歴史を幅広い視点から考えることが出来る授業です。授業時間内に講義を受けながら、ディスカッションもあるので、アメリカンスタイルの授業を肌で感じられます。  |
| 試験・課題など  | 中間、期末試験はありません。出席10%、毎週の課題が40%、期末レポートが50%の計100%で評価されます。この毎週の課題が次週の授業で取り扱う資料の予習を兼ねています。次週で扱う資料のリーディングをしたうえで、discussion questions と respose paper の2種類の課題を提出します。提出期限が週末に設定されている為、翌週火曜日の授業を迎えるときには予習が終わっている状態が自然と作れています。週3回の授業で、一回ごとに違う資料を題材にしているので、リーディングは週に3本あります。このリーディングについての要約や私見を毎週のレスポンスペーパーで3ページ程(約1000words)書きます。期末レポートはその倍です。与えられた大きなテーマについて、資料を基に自分の考えを書いていくものでした。 |
| 感想を自由記入  | はじめのセッションだったこともあり、現地の学生も多く、講義、ディスカッション、共に本当にレベルが高かったです。正式に履修した科目の中で一番大変だった授業です。私一人では単位取得は出来なかったと思います。そのくらいたくさんの方に助けてもらって単位を取った科目です。教授もクラスメートも優しく、質問したことには何でも丁寧に教えてくれました。同じ授業を取っている日本人はいませんが、相談に乗ってくれて、助けてくれる明治の友達もたくさんいました。ですので、学問の勉強として学んだことも、もちろんありますが、自分自身と向き合い、人と向き合い、そこから学べる6週間で、貴重でいい経験が出来たと感じています。   |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):  | 履修した授業科目名(日本語):   |
| MUSIC 45A, Advanced Beginning Piano Class for Non-Music Majors                             | 音楽専攻ではない生徒向けの上級ピアノ講座入門<br>→帰国後、『留学関係科目 AⅡ』に単位認定   |
| 科目設置学部・研究科   | Music Department  |
| 履修期間   | SessionB (6/5~8/11)   |
| 単位数  | 1   |
| 本学での単位認定状況   | 2(0) ※この授業単体だと時間数不足の為、単位認定がなされませんが、履修した他の授業の単位認定の後、余った授業時間を足して加え、単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |
| 授業形態   | Lecture/Tutorial/ Practical skills(チュートリアル, 講義形式等)  |
| 授業時間数  | 1週間に 90 分が 1 回  |
| 担当教授   | Jacqueline Chew   |
| 授業内容   | 音楽の楽典の座学と実技の両方。楽典は、音符や基本的な音楽用語、楽譜の読み方は分かっているものとして進み、より専門的な音楽用語やコードについて座学で学  |

|         |  |
|---------|--|
|         | びます。実技は、自分で演奏したい曲を自由に演奏したり、座学でやったコードを基に、ジャズを演奏したり、曲の伴奏(ほとんどの場合、左手で演奏するパート)部分を即興で作ったりします。   |
| 試験・課題など | 出席と、中間試験、期末試験の2回のテストで評価されます。出席25%、中間試験25%、期末試験50%です。試験内容は、楽典の筆記試験と、ピアノ演奏の実技試験の両方です。  |
| 感想を自由記入 | セッション中に履修を変更して取った授業です。その為、履修登録が遅く、初回から数回経ってからの授業参加となり、追い付くのが大変でしたが、ピアノが好きだったので頑張れました。楽しかったです。教授が本当に優しいです。履修したのは、この授業でしたが、もうひとつビギナー向けの授業も開講されており、その授業だと、演奏ももちろんしますが、座学の時間がより充実しています。楽譜の読み方等、楽典を基礎から教えてもらうことができます。私は、演奏するのは好きでしたが、楽典をしっかり勉強したことがなかったので、教授のご厚意でビギナークラスにも、聴講生として通っていました。その結果、知識と技術の両方を余すところなく吸収できました。音楽の表現、解釈を英語で行うことなど、なかなか出来ることではないので、英語表現の勉強にもつながったと感じています。 |

|  |   |
|--|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):                          | 履修した授業科目名(日本語):   |
| COLWRIT 5A, English through Broadway Musical | ブロードウェイミュージカルから学ぶ英語<br>→帰国後、『専門演習 A I』に単位認定   |
| 科目設置学部・研究科                                   | Summer English Language Studies College Writing Programs UC Berkeley  |
| 履修期間   | SessionD (7/3~8/11)   |
| 単位数  | 3   |
| 本学での単位認定状況                                   | 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |
| 授業形態   | Seminar(チュートリアル, 講義形式等)   |
| 授業時間数  | 1週間に 150 分が 2 回   |
| 担当教授   | David Frasca  |
| 授業内容   | ブロードウェイミュージカル誕生の歴史からはじまり、ブロードウェイミュージカルのターニングポイント、先の指針となった作品いくつかを中心に、ブロードウェイミュージカルの作品に幅広く触れることが出来る授業です。作品そのものについてはもちろんですが、その作品が生まれた時代や、歌、監督、脚本家、振付師、といった作品の背景まで学ぶことができます。  |
| 試験・課題など                                      | 出席と、課題、期末試験とグループワークのプレゼンテーションで評価されます。課題は、毎週、教授の指定した、ブロードウェイミュージカルの作品で映画化されたものを鑑賞し、評論を書きます。6週間あるので全部で6本書くことになるわけですが、提出期限が、最終週から一つ前の週に設定されているので、ギリギリまで溜めがちです。しかし、最終週の一週間前には、期末試験が、最終週にはプレゼンテーションが控えているので、溜めておくと泣く羽目になります。一週間一本なら頑張れます。早めに観て、早めに書くことをお勧めします。期末試験は、教科書も辞書も持ち込めました。教科書がとても分厚いので、どこに何が書いてあるかは把握しておけるくらいには勉強しないと時間内に終わりません。プレゼンテーションは、過去10年でトニー賞を受賞した作品の中から、グループごとに作品の一つを選び、その作品について行います。3, 4人程のグループで、約30分でプレゼンテーションを行います。 |
| 感想を自由記入                                      | ブロードウェイミュージカル誕生の歴史一つをみても、アメリカの歴史と黒人奴隷貿易は切っても切れないのだと感じました。教授は少し適当で大雑把でとても愉快な先生です。グループワークもありますが、授業以外に、クラスメートと演劇を観に行く機会をつくってもらえるので、クラスの子とも仲良くなれます。第二言語として英語を勉強している学生向けの講座なので、アジア系の子が多いです。みんなレベルが高いので、グループワーク、本当に勉強になりました。一緒に作業をして学ぶこともあれば、他のグループの発表からも話し方や、表現等、学ばせてもらいました。   |

|                       |                                |
|-----------------------|--------------------------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):   | 履修した授業科目名(日本語):                |
| MUSIC 44, Voice Class | 歌の授業<br>→帰国後、『留学関係科目 A I』に単位認定 |
| 科目設置学部・研究科            | Music Department               |
| 履修期間                  | SessionD (7/3~8/11)            |

|            |   |
|------------|---|
| 単位数        | 2   |
| 本学での単位認定状況 | 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)  |
| 授業形態       | Practical Skills(チュートリアル, 講義形式等)  |
| 授業時間数      | 1週間に 150 分が 2 回   |
| 担当教授       | Candace Johnson   |
| 授業内容       | とにかくみんなで自由に歌います。歌うときの基本姿勢や、声のエクササイズ、自分の声域、既存の曲へのアレンジの加え方といったことが気が付くと学べています。   |
| 試験・課題など    | セッションの終わりにパフォーマンスがあります。練習してきた歌と、任意で別のパフォーマンスも出来ます。自分もパフォーマンスするわけですが、他の人のパフォーマンスを見るのが本当に楽しいです。この最終のパフォーマンスと、出席、学期末に提出するソングリストと、練習日記で評価されます。ソングリストは、6週間かけて学んだ、自分の声域にあった歌を指定された様々なジャンルから10曲選んで紹介、解説を書き加えて提出するレポートです。練習日記は、授業外で自分が練習したことを日々書き留めたもので、これも学期末に提出します。   |
| 感想を自由記入    | とにかく楽しかったです、履修していて一番楽しかった授業かもしれません。教授もクラスメートも気さくで毎回授業に行くのが楽しみでした。いきなり、メロディと歌詞を自分で作って歌ってごらんという回の授業について行けず落ち込んだりもしましたが。その回は、失敗するのが怖いか、恥ずかしいといった理由で、何も言葉を発せませんでした。しかし、LanguageBarrier に理解のある教授でしたし、先述のとおり、本当に気さくなクラスメートたちだったので、失敗しても大丈夫という気持ちで臨めるようになりました。セッションが終わるころには、はじめよりは何か言えるようになったので嬉しかったです。クラスの子と一番仲良くなれたのも、この授業だと思います。講義には講義の、実技には実技の難しさ、やりがいそれぞれがあると実感できたのもこの授業のおかげです。 |

|  |   |
|--|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):                                  | 履修した授業科目名(日本語):   |
| N1H: Introduction to Sociology for Pre-Health Majors | 社会学(drop)   |
| 科目設置学部・研究科   | (Sociology N1H):UC Berkeley   |
| 履修期間   | SessionC (6/20~8/11)  |
| 単位数  | 4   |
| 本学での単位認定状況   | ／単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |
| 授業形態   | Lecture&Discssion(チュートリアル, 講義形式等)   |
| 授業時間数  | 1週間に 120 分が 3 回   |
| 担当教授   | L.Katherine Thomson, PhD<br>Santiago Molina, TA   |
| 授業内容   | 社会関係や、文化、機構、外交、不平等、社会の階層化といった幅広いジャンルにおける主要な論理や概念、社会学の本質を見ていく授業です。   |
| 試験・課題など  | 授業のレスポンスシート:15%、計4回の小テスト:10%、中間レポート(5~7ページ):16%、中間試験:16%、グループワーク:8%、期末レポート:20%、期末試験:15%、計100%で評価されます。   |
| 感想を自由記入  | 教授も TA さんも本当に親切で、クラスの雰囲気もいい感じでした。既に履修していた授業との両立がどうしても私には難しかったのでドロップしました。単体で履修したとしても、とても大変な授業だと思いますが、同時にとてもやりがいを感じられる授業だと思います。社会学は歴史学や法学といった学問も包含している広い学問分野だということがわかりました。また機会をみて、社会学学んでみたいと思います。 |

|   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):   | 履修した授業科目名(日本語):                    |
| History 122AC: Antebellum America: The Advent of Mass Society | 南北戦争前のアメリカ:大衆社会の出現(聴講)             |
| 科目設置学部・研究科  | Department of History              |
| 履修期間  | SessionD (7/3~8/11)                |
| 単位数   | 4                                  |
| 本学での単位認定状況  | ／単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)          |
| 授業形態  | Lecture&Discussion(チュートリアル, 講義形式等) |

|         |  |
|---------|--|
| 授業時間数   | 1週間に150分が3回  |
| 担当教授    | Sarah Gold McBride   |
| 授業内容    | 南北戦争前の時代＝大衆社会の出現というテーマに基づいてを南北戦争前のアメリカ掘り下げるとい授業。主に1812年～1860年の間に焦点を当て、様々な階層の人が書いた資料を読むことで多角的な視点で南北戦争について学ぶことが出来る授業です。  |
| 試験・課題など | 出席(毎週のレスポンスシートも含む)、中間レポート、期末レポート、中間試験、期末試験で評価されます。   |
| 感想を自由記入 | 元々南北戦争前後の歴史、黒人奴隷貿易に興味があり、南北戦争に関係している歴史の授業を履修したかったのですが、単位認定や難易度から時間割を作っていたら履修できるのがありませんでした。ヒストリーの授業の大変さは、前半のセッションで十分すぎるほど身をもって体験しましたし、後半で3つの授業を履修していたので、正式な受講は不可能でした。どうしても諦めきれなかったので、聴講させてもらえないか相談したところ、教授が承諾してくださり、授業にだけ参加していました。教科書7冊に毎週のレポートは私はこなさなかつたので、ディスカッションには全くついていけませんが、意見を聞いたり、レクチャーを聞くだけで、南北戦争前後の、アメリカの歴史や、奴隷制について学べることはたくさんありました。やりやいようにやらせていただいた教授のご厚意に感謝です。学部での自分の勉強に活かしていきたいです。 |

|   |   |
|---|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語):                                   | 履修した授業科目名(日本語):   |
| MUSIC 45B, Beginning Piano Class for Non-Music Majors | 音楽専攻ではない生徒向けの初級ピアノ講座入門(聴講)  |
| 科目設置学部・研究科  | Music Department  |
| 履修期間  | SessionB (6/5~8/11)   |
| 単位数   | 1   |
| 本学での単位認定状況  | ／単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)   |
| 授業形態  | Lecture/Practical Skills(チュートリアル, 講義形式等)  |
| 授業時間数   | 1週間に90分が1回  |
| 担当教授  | Jacqueline Chew   |
| 授業内容  | 音符の種類や、楽譜の読み方、速度記号、長調と短調といった基本的な楽典を座学でやります。教授の選んだ、教科書の中にある曲のリストの中から、自分が演奏したい曲を選んで演奏します。                             |
| 試験・課題など   | 出席と、中間試験、期末試験で評価されます。<br>試験は筆記試験と実技どちらもあります。  |
| 感想を自由記入   | 楽典の知識を補う為に、教授のご厚意で聴講させてもらいました。今まであまり考えず、ただの約束事として、演奏する際に使用していた楽典の概念や理論を、こういった理論があるから、ここでこの表現方法で演奏すると効果的なのだと理解できました。 |

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

|                |   |
|----------------|---|
| 2016年<br>1月～3月 | デ・ラ・サール大学春季法学部研修参加<br>(2016年2月28日～2016年3月13日)   |
| 4月～7月          | 2年生前期授業<br>4月～6月デラサール大学のプログラム紹介冊子作成   |
| 8月～9月          | 夏休み   |
| 10月～12月        | 10月法学部ガイダンスにてデラサール大学のプログラムの宣伝活動<br>海外留学フェスタ参加<br>→UCB サマーセッションのプログラムを知る<br>→説明会等参加、募集要項の確認<br>ゼミ見学、ガイダンス等<br>11月ゼミ試<br>TOEIC の勉強<br>12月 TOEIC 試験<br>独検受験<br>UCB 志望理由書作成 |
| 2017年<br>1月～3月 | 1月大学定期試験(期末)<br>2月授業検索、履修登録、支払い<br>滞在先リサーチ、Apply、支払い<br>3月 SEVIS 申請   |
| 4月～7月          | 4月 i-20 (在留資格証明書) 申請<br>5月 VISA 面接<br>海外保険加入手続き<br>VISA 取得、保険加入完了<br>TOEIC スピーキングテスト受験<br>搭乗券購入、シャトルバス予約<br>荷造り   |
| 8月～9月          | 8月(後半)帰国<br>9月 TOEIC L&R 受験<br>ゼミ合宿(ベトナム)<br>就活<br>TOEIC スピーキングテスト受験  |
| 10月～12月        | 10月単位認定願い提出→所属学部と面談→単位認定<br>留学報告書作成→提出<br>TOEIC L&R 受験(毎月)<br>就活  |
| 2018年<br>1月～3月 | 大学定期試験(期末)<br>就活  |



|         |    |
|---------|----|
| 4月～7月   | 就活 |
| 8月～9月   |    |
| 10月～12月 |    |

### 留学体験記

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 留学しようと決めた理由               | 英語が好きで、人とコミュニケーションを取ることも好きでした。高校時代に担任の担当教科が英語だったこともあり、交換留学生と同じクラスで一年間過ごしました。モンゴルからの子と、ドイツからの子です。日本語の勉強に来ていましたが、初めは日本語でコミュニケーションを取ることが難しく、英語でコミュニケーションを取っていました。母国語はみんな違うのに、英語を使えば交流が出来るという事実を肌で体感し感動しました。それがきっかけで、大学に入学したら留学に行ってみたくて考えていました。大学1年の春休みを利用し、フィリピン、デラ・サール大学の春期法学研修に参加をしました。現地学生との密度の濃い2週間を過ごすことが出来、もっと多くの人と関わってみたくてという気持ちが強くなり、今回の留学を決めました。                         |
| 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備 | このプログラムに参加する為に必要なスコアを持ち合わせていなかったため、参加の条件を満たす為に必死での勉強をし、参加条件をなんとかクリアし、申し込むことが出来ました。行くまでに必死で英語をやったので参加出来ることが出来ましたが、実際に行ってみると、語学留学ではないことを痛感しました。英語を出来る限り準備することも大切です。それと同時に、自分の履修予定の科目についての、専門知識に行く前に深めておくことが非常に重要だったと痛感しました。せっかく英語を読んでも、専門知識についての理解がないと、向こうの授業について行くことが出来ず、苦勞した経験は向こうで一度ではありません。知識を深めたうえで、自分の意見を持てると、ディスカッション等にもっと積極的に参加出来たのに、と反省しています。                           |
| この留学先を選んだ理由               | 留学をするにあたり、自分の中でいくつかの希望がありました。①語学留学ではないこと、②半年、1年間は難しいかもしれないけれど、なるべく滞在期間の長いもの、③4年間で卒業することが出来ること、④現地の人との交流が出来ること、以上の4点です。これらの条件を満たすものだと、長期の大学間協定留学のプログラムが魅力的でした。しかし、お恥ずかしい話で、IELTS等、TOEIC以外の英語試験を受験したことがなく、そもそも応募が出来ないという状態で諦めかけていました。そんな中、パークレーのサマーセッションのプログラムを知りました。①専門科目の履修が可能、②滞在期間3か月、③協定留学で単位認定が可能なおことから、4年間で卒業が可能、④寮やキャンパス、あらゆる場所で学生との交流が図れる、と全ての希望に合致していたことから、この留学に決めました。 |
| 大学・学生の雰囲気                 | 大学はとにかく広いです。リスがたくさんいます。始めはリスに遭遇するたびにテンションが上がって駆け寄りますが、一月もいると慣れてしまいます。日本で野良猫を見た際の反応と変わらなくなります。広くて迷子になります。授業の前に、自分の受ける授業の教室がどの建物の、どこにあるのか、確認しておくことをお勧めします。私の履修していた授業は、教授も、クラスメートもみんなとても優秀で優しい方でした。勉強面でも、生活面でも、相談すれば、必ず力になってくれます。学生は特に、意欲の高い方が多いので、一緒にいると、自分も頑張ろうと思えます。素敵な考え方やいい刺激にたくさん出会えました。  |
| 寮の雰囲気                     | とても良いです。住んでいる人みんな気さくで優しく、私は大好きでした。休日のアクティビティも豊富でした。特に毎週水曜日の夜に、ホールに集まってコーヒーを飲みながらお話をするという“コーヒーアワー”で、たくさんの学生と知り合うことが出来ます。時々、エレベーターが止まったり、洗濯機が壊れていたり、伝統のある寮が故のトラブルもありますが、そういったトラブルの学生の間ではいい話のネタになります。違う寮に住んでいる友達を連れてくると、外観がお城みたいと喜んでもらえます。  |

|               |  |
|---------------|--|
| 交友関係          | 渡航前の事前講座で、「英語が上手に話せないことを言い訳にしない」というご指摘を横川綾子先生にいただき、肝に銘じて渡航しました。寮、授業、キャンパス、道端…。話せる機会のある時、場所では積極的に話しかけるようにしていました。しかし、うまく伝わらないことも多々ありましたし、お店で飲み物のオーダーも聞き取ってもらえず、お店の人3人がかりで私の発音のリスニングをしてもつらい、しまいにはジェスチャーゲームのようにオーダーを伝えるしか出来ず、とても落ち込みました。しかし、コミュニケーションを取り続ける努力をすると、相手の英語から発音や表現を学び、それを使っていくことで、話せることが増えました。海外の学生はもちろん、日本の他大の学生とも、英語を通してたくさん知り合うことが出来ました。最初の店員さんとも、帰るころには雑談が出来るようになり、帰国前にありがとうと、挨拶までする仲になりました。もちろん怖気づいてしまい、諦めてしまうこともありましたが、自分の英語が不安だからと使わなかったらもったいないと実感した3か月でした。 |
| 困ったこと、大変だったこと | 正直、渡航前の手続きから、渡航中の勉強、生活まで、困ったこと、大変なことだらけでした。i20は届かないし、課題が多すぎてパニックに陥るし、スマホは壊れるし…。ですが、今回の留学は本当に人に恵まれたなと心から感じています。明治の友達、教授、現地の学生、クラスメート、寮のスタッフ、サマーセッションオフィスのスタッフ…出会ったありとあらゆる方の力をお借りし、充実した12週間を過ごすことが出来ました。人より失敗が多かった自信があります。そのおかげで気づけたことがたくさんあります。たくさんさんの素敵な出会い気が付けたことも、その気づきの一つです。困ったこと、大変だったことは、乗り越えられれば必ず力になります。大変そうだから、失敗が怖いからという理由でやめてしまうのはもったいないと思います。私は助けてもらえばなしだったので、何かしらの形で、返していけるように、助けてもらった経験を活かして、日々頑張りたいと強く感じています…！   |
| 学習内容・勉強について   | 机に向かう「勉強」と、コミュニケーションを取っていく「勉強」のどちらも出来るような履修の組み方をしました。レクチャーや、ディスカッション、課題から学ぶこともあれば、授業で、グループワークをしたり、一緒に曲を作りあげることでも得られることもありました。どの授業も全力で取り組めたと思っています。勉強は、特に始めは何が何だかわかりません。自分が、何がわかっていないからついていけないのか(リスニングが追いつかないのか、専門知識が不足しているからわからないのか等)を分析するよう、心がけました。自分がわからない理由が分かれば、あとはそこを補う努力(聞こえていないなら、授業のテキストの該当箇所を確認し、教授にメールを送る、専門知識が足りないのであれば、日本語で調べてから、その英語表現を覚える等)をして、なんとか、諦めず授業に食らいつきました。  |
| 課題・試験について     | 私はとにかく書く課題が多かったような気がします。続けていくうちに、少しずつではありますが、かかる時間が短くなり嬉しかったのを覚えています。要領がよくないので、勉強一つ一つにとっても時間がかかりました。ずっと取り組んでいるのに、いつまでたっても終わらなくてとても苦しかったです。しかし、レポート課題も、試験も、なんとか締め切りには間に合わせる事が出来て、また、良い評価をもらえると、ギリギリまで泣きながら頑張ってた良かったと思えます。間に合わせる事がまず一番大切ですが、あとは、可能な限りあがくことも大切なのかな、と感じました。  |
| 大学外の活動について    | 授業に参加し、ついて行くのに必死で、クラブ活動やボランティアといった大学外の活動に参加することは叶いませんでした。その中でも、授業や寮で知り合った子たちに、自分から声をかけて、アクティビティ以外のところで一緒にご飯を食べに行ったり、その子の滞在している寮に遊びに行ったりすることは出来ました。授業で更に興味を持った女性の権利や、黒人奴隷制について、そういった権利主張の活動をされているアフリカンアメリカンの女性にお話を聞きに行くことが出来ました。限られた期間と時間、場所の中で、自分の出来る活動には取り組めたと思っています。   |
| 留学を志す人へ       | ありきたりなことになってしまっていますが、「とりあえずやってみる」ということがどれだけ大切かを痛感しました。何かアクションを起こすにあたり、リサーチをし、分析してから物事にあたるというスキルも、もちろん大切だと思います。それが出来るというのも素晴らしいことです。しかし、まず行動しないと自体は何も動きません。やり始めたときは何がどうなっているのか、さっぱりわからなくても、続けていくうちに、だんだんとわかってきます。ふと気が付くと、出来てしまっている自分がいるんです。リサーチと分析は行動の後からついてきます。ぜひ、重い腰を、とりあえずでいいので上げてみてください。その腰、意外と重くないということに気づけるとと思います。  |

## 一週間のスケジュール(例)

|     | 月曜日            | 火曜日            | 水曜日              | 木曜日                | 金曜日              | 土曜日            | 日曜日              |
|-----|----------------|----------------|------------------|--------------------|------------------|----------------|------------------|
| 午前中 | 前半 自習          | 前半 自習          | 前半 自習            | 前半 自習              | 前半 自習            | 前半 自習          | 前半 自習            |
|     | 後半 授業          | 後半 授業          | 後半 授業            | 後半 授業              | 後半 自由時間          | 後半 自習          | 後半 自由時間          |
| 午後  | 前半 自習          | 前半 授業          | 前半 授業            | 前半 授業              | 前半 自習            | 前半 自習          | 前半 自習            |
|     | 後半 自由時間        | 後半 授業          | 後半 授業            | 後半 授業              | 後半 自由時間          | 後半 自習          | 後半 自由時間          |
| 夕刻  | 前半 自習<br>後半 自習 | 前半 自習<br>後半 授業 | 前半 オフィスアワー<br>後半 | 前半 自由時間<br>後半 自由時間 | 前半 自習<br>後半 自由時間 | 前半 自習<br>後半 自習 | 前半 自習<br>後半 自由時間 |
| 夜   | 前半 自習<br>後半 自習 | 前半 自習<br>後半 授業 | コーヒーアワー          | 前半 自由時間<br>後半 自由時間 | 前半 自習<br>後半 自由時間 | 前半 自習<br>後半 自習 | 前半 自習<br>後半 自習   |

## Report of Program Activities (Study Abroad Program)

Date: year2017month10day13

|   |   |
|---|---|
| School/Graduate School·Major At Meiji University    | Law   |
| Country of your study abroad                        | the United States of America  |
| Name of the host institution                        | Calornia University at Berkeley   |
| Study period  | year2017month5~year2017month8   |
| Grade when you started the program                  | yearthied(year at your departure)   |
| Grade you belonged to at the host institution       | year/(year you have belonged to at host institution)  |
| School you belonged to at the host institution      | <input checked="" type="checkbox"/> University of California at Berkeley<br><input type="checkbox"/> Haven' t belonged to specific school.                    |
| Date of return                                      | year2017month8day21   |
| Expected year of graduation (from Meiji University) | year2019month3  |
| <b>Information of Host Institution</b>              |   |
| School type   | <input type="checkbox"/> National <input checked="" type="checkbox"/> Public <input type="checkbox"/> Private <input type="checkbox"/> Other                  |
| Academic calendar                                   | <b>Semester1:</b> <b>Semester2:</b> <b>Semester3:</b><br>(e.g./Semester1:Beginning of April~End of July, Semester2:Middle of September~Beginning of February) |
| Number of students                                  | about 40,173  |
| Year of founding                                    | 1868  |

| Fees                 | Local Currency (dollar) | Yen           | Note  |
|----------------------|-------------------------|---------------|---|
| Tuition              | 7701. 11                | 901'048yen    |   |
| Housing              | 5513. 00                | 646'286 yen   |   |
| Food                 | /                       | / yen         |   |
| Books and Text books | /                       | / yen         |   |
| School Supplies      | 100                     | 10'000 yen    | including "Books and Text books"                                    |
| Recreation           | /                       | / yen         |   |
| Clothes              | /                       | / yen         |   |
| Medical              | /                       | 0 yen         |   |
| Insurance            | 450                     | 50'630 yen    | type:plan①  |
| Travel expense       | 2077                    | 232'830 yen   |   |
| Petty expense        | 2142                    | 240'000 yen   | including "Food"(except meal in dorm.), "Clothes", and "Recreation" |
| Other                | 892                     | 100'000 yen   | trip expense after finishing the all session                        |
| Other                | /                       | / yen         |   |
| Other                | /                       | / yen         |   |
| <b>Total</b>         | 18'875                  | 2'180'794 yen |   |

## Travel Information

Route: Narita↔SFO

Travel Expenses

Ticket type            economy classOutward            /Return            /Total            ¥232'830

Travel company you used, guidebooks, or any other resources you referred during the preparation:

/

## Accommodation

1)Housing type (e.g.:apartment, dormitory of host institution etc.)

Dorm.

2)Room type

Single OR Living with others(Number of room mate     )

3)How did you find the residence?:

I searched through internet based on information the student who participated in the program last year gave me.

4)Comments : (Describe your life at the housing and advise to students who are willing to study abroad.)

I loved i-house because everyone living there was kind, respectful. I really enjoyed my stay. I stayed at single room and it was enough size for me to live. The food was good for me too and it was also good opportunity to talk with my friends in the dining hall. Sometimes I had in trouble with some equipments the dorm had, but everything was worked out in the end so I didn't care about those problems. Anyway, I-house is the best place to stay!

## Local Information

1)Have you gone to any hospitals during studying abroad? Are there any clinics or medical offices at the host institution?

No,  
Yes:

2)Who did you consult with if you have any problems? Is there any specific office where you could consult at the host institution?

my friends, professor. All they were really kind, nice nature, and helpful for me so I could spend while enjoying thanks to them.

3)How did you get information on risk management? Have you encountered any dangerous situations or crimes during your stay? If yes, how did you deal with the problem?

From my friends.

4)Are there any troubles or comments regarding the use of PC, cell phones, and the Internet?

(e.g.: The Internet environment at the dormitory was unstable and it stopped once a week. I could connect the Internet at café in the town, so I visit it during the time.)

I could use wifi both in the school and in the dorm. And I also had my portable wifi in case of emergency.

5)How did you bring your money?

(e.g.:I opened a bank account at a local bank and asked my parents to make wire transfers. The bank account couldn't be opened before completing alien registration there. I also used my credit card for shopping.)

I exchanged my money into US dollar before leaving Japan and I also used my credit card.

6)Are there any items you should have brought from Japan?

We can get everything after getting to UCB.

7)【Fee-paying program】The way and timing you have paid the tuition and fee.(e.g.:Paid by my own credit card before departure / Opened a bank account and made the payment through it after arrival/ Received the

|   |
|---|
| information from the host institution before departure/ Informed how to make the payment at the orientation after arrival/ and etc.)  |
| Pay by my own credit card before departure.   |
| <b>After Graduation</b>   |
| <b>1) Career plan after graduation</b>  |
| <input checked="" type="checkbox"/> Start working <input type="checkbox"/> Continue studying <input type="checkbox"/> Not decided <input type="checkbox"/> Other :  |
| <b>2) Any documents, book or organizations referred when you decided your career plan.</b>  |
| I decided to start working from the beginning.  |
| <b>3) If you will start working, please mention the company and the reason why you decided to join it. (Not mandatory, writing the name of company only is also accepted.)</b><br>※For 1st~3rd year students who are going to start job hunting, please describe which industry you want to work for. (not mandatory) |
| I'm interested in jobs such as hotels, amusementpark. It is because I like to make people happy. I havn't decided a specific job but I want to take jobs I mensioned above.   |
| <b>4) Any advices or comments regarding your job hunting.</b><br>※For 1st~3rd year students who are going to start job hunting, please describe your motivation toward it or any changes occurred on your career plan through studying abroad.  |
| In my opinion, it is the best way for you that you do your best at any area when you study abroad. However, you can decide whether you go to some internship or not before going back. It is probably helpful to you to start your job hunting.   |
| <b>5) If you will continue studying, please write the institution you are going to.</b>   |
| /   |
| <b>6)Any advices for students who wish to continue studying after studying abroad (about preparation for examination, and etc.)</b>   |
| /   |
| <b>7) If you selected "Other" above, please describe your plan and provide some advices to the students who wish to study abroad in the future.</b>   |
| /   |

| Report of your study(Describe the details of all the classes you took)   |   |
|--|---|
| <b>1)Number of credits you' ve earned</b>  | <b>Number of Credits you converted (at Meiji University)</b>  |
| 10Credits  | <input checked="" type="checkbox"/> 10Credits<br><input type="checkbox"/> Haven' t requested to convert any credits<br>(Reason: ) |
| <b>2) Please describe each class you took during studying abroad including advice for students who wish to study abroad. If the space is not enough, make another document (A4 size) and attach it to this report.</b> |   |
| <b>Name of the class:</b>  |   |
| HISTORY136C, Defiant Women: Gender, Power and Violence in American History   |   |
| <b>Faculty</b>   | History   |
| <b>Duration</b>  | SessionA  |
| <b>Number of credits</b>   | 4   |
| <b>Number of credits converted to Meiji</b>  | 4Credit   |
| <b>Class style</b>   | Lecture&Discussion(tutorial, lecture, etc.)   |
| <b>Class frequency/ hours</b>  | 150minutes *3times per week   |
| <b>Professor</b>   | Stephanie Jones-Rogers  |
| <b>Contents</b>  |   |

|                     |  |
|---------------------|--|
| Test, Homework etc. |  |
| Comments / Advice   |  |

|  |  |
|--|--|
| Name of the Class:   |  |
| MUSIC 45A, Advanced Beginning Piano Class for Non-Music Majors |  |
| Faculty  | Music  |
| Duration   | SessionB   |
| Number of credits  | 1  |
| Number of credits converted to Meiji                           | 2Credit  |
| Class style  | Lecture/Tutorial/Practical Skills(tutorial, lecture, etc.) |
| Class frequency/ hours   | 90minutes 1times per week                                  |
| Professor  | Jacqueline Chew  |
| Contents   |  |
| Test, Homework etc.  |  |
| Comments / Advice  |  |

|  |  |
|--|--|
| Name of the Class:                           |  |
| COLWRIT 5A, English through Broadway Musical |  |
| Faculty                                      | Summer English Language Studies College Wrting Programs<br>UC Berkeley |
| Duration                                     | SessionD   |
| Number of credits                            | 3  |
| Number of credits converted to Meiji         | 2Credit  |
| Class style                                  | Seminar(tutorial, lecture, etc.)                                       |
| Class frequency/ hours                       | 150minutes 2times per week   |
| Professor                                    | David Frasca   |
| Contents                                     |  |
| Test, Homework etc.                          |  |
| Comments / Advice                            |  |

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| Name of the Class:                   |  |
| Voice Class                          |  |
| Faculty                              | Music                                      |
| Duration                             | SessionD                                   |
| Number of credits                    | 2  |
| Number of credits converted to Meiji | 2Credit                                    |
| Class style                          | Practical Skills (tutorial, lecture, etc.) |
| Class frequency/ hours               | 150minutes 2times per week                 |
| Professor                            | Candace Johnson                            |
| Contents                             |  |
| Test, Homework etc.                  |  |
| Comments / Advice                    |  |

## Time Chart for the Study Abroad

Please describe things you have done from preparation before your departure (including studying), during your staying abroad, and after returning to Meiji University.

(e.g.: Studied for language proficiency test, inner screening, application, middle exam (during study abroad program), final exam, other events, and etc.)

|                       |  |
|-----------------------|--|
| January ~ March, 2016 | studying abroad to De La Salle University (law course) in the Philippines (about two weeks)  |
| April ~ July          | classas in Meiji University (spring semester)  |
| August ~ September    | summer vacation  |
| October ~ December    | studying TOEIC exam to pass the selection of UCB<br>taking TOEIC exam<br>apply for UCB Summer Sessions   |
| January ~ March, 2017 | final exam in Meiji University (to get units in Autumn semester)<br>applying for International House enrollment for summer classes<br>preparing for the stay |
| April ~ July          | interview at AmERICAN Embassy<br>packing<br>study in UCB   |
| August ~ September    | study in UCB<br>going back to Japan  |
| October ~ December    | interview with a dean to exchange my units<br>starting job hunting   |
| January ~ March 2018  | job hunting<br>final exam in Meiji University  |